

がんばろう福島

情報をお寄せください メールアドレス:sn-fukushima@sponichi.co.jp

〒960-0808
福島市太田町13-17
民報ビルF
0244(556)7011
FAX 0244(556)2117
http://www.sponichi.co.jp
©Sponichi.co.jp

県高校新人体育大会サッカー競技男子
最終日 (6日 いわきグリーンフィールド)

(2年)が右CKからゴール前のこぼれ球を右足で蹴り込んでゴール。この1点を守り切った。優勝した尚志と準優勝の磐城は、来年2月6日に相馬光陽サッカー場で開幕する東北大会に出場する。

決勝が行われ、尚志が1-0で磐城を下し、2年ぶり7度目の優勝を飾った。前半31分にDF生井沢佑斗

尚志 2年ぶり奪冠

決勝ゴール生井沢 選手権出場へ弾み



▽決勝
尚志1-0磐城
▽得点者(◎)生井沢

安定した力発揮
全国高校選手権を年末に控え、新チームに移行していない中でも尚志は安定した力を発揮。選手権組4人を欠いても2年ぶりに王座を奪還した。細かくパスをつないで

①尚志、磐城▽前半31分、目の前にこぼれたボールを蹴り込み、決勝点となるゴールを決めた尚志・生井沢(右から3人目) ②優勝に笑顔の尚志イレブン

イケメンで完璧DF

「メンバー入りなら優勝目指して」
「メンバー入りなら優勝目指して」と笑った生井沢。そのメンバーには、11月の選手権県大会決勝では延長後半のラスト5分に出場。一出ると思っていたいなかった。膝がガクガクだったと振り返った。今大会は試合経験を積むためにBチームに交じって出場。「(選手権県大会)決勝で緊張を経験したおかげで、きょうはみんなよりの落ち着いてプレーができた」。運もさることながら、冷静なプレーが虎の子の1点につながった。

小林将士主将(2年)が「ヘディングが強く、1対1も強く、守備もよ

攻め込んだが、磐城もこれに対応し、なかなかネットを揺らすことができなかった。それでも前半31分、右CKからのセンタリングに相手がクリアミス。「目の前に転がってきた」というDF生井沢が右足でシュート。1点。生井沢は「メンバーに入ったら、優勝を目指して頑張りますよ」と語り、東北大会に向けては「今大会のように無失点で戦いたい」。小林主将は「チームワークを大事に戦ってきたい」と語った。(渡辺 雪枝)

く、イケメンで完璧」と評価する。1対1と小柄だが、高さのあるヘディングは競り負けない。パレーボールの選手だった父のおかけかなという。守備では今大会4試合無失点。決勝でも磐城のシュートを後半の一本のみに抑えたが、「パスミスからゴール前に行かれてしまう場面もあったので、自分たちのミスをなくさなければ」と表情を引き締めた。これから再び、選手権モードへと入っていく。生井沢は「メンバーに入ったら、優勝を目指して頑張りますよ」と語り、東北大会に向けては「今大会のように無失点で戦いたい」。小林主将は「チームワークを大事に戦ってきたい」と語った。(渡辺 雪枝)